

商工会議所との連携で 創業をお考えの皆さまを 強力にサポートし 仙台に活気を創出します。

日本政策金融公庫
仙台支店
支店長兼国民生活事業統轄
まつぞの たかひろ
松園 高弘 氏

プロフィール

昭和33年3月6日生まれ。神奈川県出身。血液型O型
昭和57年大学を卒業後、国民金融公庫(現日本政策金融公庫)に
入庫。名古屋、札幌などの支店勤務を経て、平成17年会津若松支
店長に就任。平成26年4月より現職。趣味は散歩と、おもに徒歩に
よる旅行。「この前の休日も仙台から古川、古川から金成まで歩い
たんです。歩くからこそ、まちの良さが発見できる。それが徒歩旅行
の醍醐味です。地域を肌で感じて、その感覚を仕事に生かしたいと
思っています。私の趣味は実益を兼ねています」と話す。



得意分野で力を発揮 「切れ目ない支援」を実現

—5月27日に貴公庫と当所の連携による「創業パワーアップサポート」締結式を実施し、間もなく制度がスタートします。まず概要からご紹介いただけますか。

政府が、成長戦略において我が国の開業率を米国や英国レベルの10%台にすることを目指していることは、皆さんご存じの通りです。また仙台市も「日本一起業しやすいまち」を目指して支援センターを開設するなど、創業者サポートに力を入れています。このように創業を支援する機運が高まりを見せる中、私たちと仙台商工会議所さんとが連携し、お互いの創業支援ノウハウを切れ目なく提供して相乗効果を発揮することで、創業の促進、創業企業の成長を後押ししようというものです。

—どのような特徴がありますか。

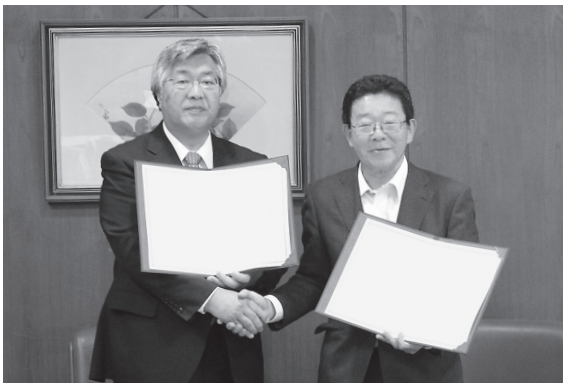
日ごろから、当公庫に創業の相談に来られる方の「どこに相談すればいいのかわからなかった」という声を多く耳にしてきました。ひと口に「創業」と言っても、漠然とした事業構想だけの段階と、事業をスタートさせて軌道に乗せるまでの段階では、相談する内容も相手も異なります。私どもも商工会議所さんも、創業に関するご相談を

お受けしていますが、それぞれが各段階に応じたサポートを充分にできていくのかということになると、なかなか難しいところがあります。例えば、私たちは融資に関わるご相談を受けることはできません。しかし、その前段階の事業計画書作成のお手伝いは、商工会議所さんの得意分野と言えます。ですから私たちが手を組むことで、お互いの強みを生かしながら、弱い部分を補完し合う体制で臨むのが、今回の支援事業の特徴と言えます。

—この支援事業を行うにあたり、どのような効果を期待していますか。

この「創業パワーアップサポート」は、具体的に申し上げますと創業の融資を当公庫が行い、事業計画作成はもとより、創業後の経営指導は商工会議所さんが中心に担当し、専門家派遣やセミナー、交流会などのきめ細やかな支援制度をフル活用し、創業者をしっかりサポートするという制度です。

ですから、創業からある程度安定した段階に至る過程で、創業者の方にとって非常に心強いサポートになるのではないかと思います。当支店では、昨年度480件の創業融資を行い、仙台の創業者を支援してきたわけですが、本サポート制度を商工会議所さんと共に取り組むことで、さらに仙台における創業件数が伸びるのではないかと期待しています。そして創業される方々が放つパワーに既存の企業が強い刺激



5月27日に実施した締結式での1枚。お互いの得意分野を生かしながら、創業者を戦略的に切れ目なくサポートすることを誓い合った。

を受け、仙台がより活力あふれる都市になれば、私たちもこんなうれしいことはないと思っています。

より前向きな 創業の伸びに期待

―震災から3年余りが経過したいま、今後の仙台経済の見通しについて、どのようにお考えですか。

震災当時、私は仙台支店におりませんでした。が、「こういう時こそ私たちの出番」と意気込み、職員を全国から投入して、皆さまのご相談に対応しました。3年が経過した現在、まだ復興道半ばというところもありますし、私たちとしても対応しきれっていない部分

がありますので、まだまだがんばっていかねばならないと気持ちを新たにしているところです。

創業という観点からは、震災以降、開業率が大きく伸びています。これまでは震災前に勤務していたところを失ってしまったの創業というものも少なくなかったのですが、現時点では、むしろ商機を狙った形での創業のウエイトが高くなっているのではないかと思います。そういう意味では、今後、より前向きな創業の可能性も出てくるのではないかと期待しているところであります。前任地の福岡も創業が盛んな地域ですが、仙台はそれ以上の勢いがあると感じております。

創業に必要なのは 事業計画書と自身の得心

―創業をお考えの方に、メッセージをお願いします。

今回、ご紹介させていただいた「創業パワーアップサポート」以外にも、当支店ではこの4月に「東北ビジネスサポートプラザ」という組織を立ち上げ、創業のご相談に応じています。平日はもちろんですが、第1・3土曜日もオープンしていますので、平日はなかなか時間が取れないという方も安心してご利用いただけます。原則として予約制にさせていただいておりますので、さまざまな疑問や質問にじっくり

とお答えしたいと考えています。また電話による創業相談も受け付けておりますので、ぜひ、ご利用いただければと思います。

創業には事業計画の内容が最も大切だと思われがちですが、私はそれだけではないと思っています。創業される方自身が、その事業を生きがいとして取り組むことができるか、自分なりに得心することが事業計画と同じくらいいえ、それ以上に大切なのではないのでしょうか。私たちも全力でサポートさせていただきますので、ぜひ一度、当公庫に足をお運びください。

【概要】

日本政策金融公庫

設立：平成20年10月1日

仙台支店代表者：支店長 松園 高弘

事業内容：国民生活事業・中小企業事業・農林水産事業を主な業務として、それぞれ小規模事業者への資金調達支援および教育資金融資など、中小企業の資金調達支援など、農林水産事業者の資金調達支援などを行っています。

仙台支店所在地：仙台市青葉区中央1-6-35

TEL.022(222)5173(国民生活事業)

022(222)5338(東北ビジネスサポートプラザ)

ホームページ：http://www.jfc.go.jp

海

生命の母、たったひとつの『海』。

地球上のありとあらゆる生命の源、『海』。この、『母なる海』を、美しいままで未来へと残していかなくてはなりません。21世紀の子供たちも、今と同じようにこうして海で夏を過ごせるように。そう私たちは考えています。私たちは青葉環境保全です。

——より良い環境をめざす——
AOBA 青葉環境保全

本社／仙台市若林区蒲町19-1

電話(022)286-3161(代)